

平成28年度友好都市酒田市交流事業「小学生交流」受入研修

海津市と友好都市である山形県酒田市との「小学生交流」は、毎年交互に小学生がお互いのまちを訪問して友好を深めており、今年で24回目となります。

今年は8月6日（土）から8月9日（火）までの4日間、酒田市の小学生が海津市を訪問し、初日と2日目は海津市の小学生の家庭にホームステイ、3日目は全員そろっての宿泊研修を行いました。

<受入初日（8月6日）>

羽島駅到着後、酒田市訪問団一行は、行基寺を見学しました。行基寺の300年ほど前からの歴史と由緒ある建物や調度品などに圧倒されるだけでなく、「回廊式庭園」と呼ばれる枯山水の庭園や濃尾平野はもとより、知多半島から日本アルプス連峰の景色を楽しむことができました。その後、木曽三川タワーに上り、眼下に広がる木曽三川の雄大な流れと輪中地帯独特の水郷景観を堪能しました。その後、海津市文化センターで歓迎の集いがあり、ここで海津市の参加者たちと対面しました。



熱烈歓迎



行基寺



木曽三川タワー



歓迎のつどい

<2日目（8月7日）>

午前中は、長良川サービスセンターで、カヌー体験をしました。子どもたちは、はじめは進みたい方向に進めず苦労していましたが、普段行うことができない体験を楽しんでいました。その後、お千代保稲荷神社では、参拝だけでなく、参道に並ぶ商店街で買い物を楽しみました。そして、海津市歴史民俗資料館を見学し、「貝塚と古墳」「輪中と低地の農業」「高須藩」を主要テーマに、服部指導員の解説も交えながら、海津市の歴史や文化について学びました。



海津市歴史民俗資料館



お千代保稲荷神社



カヌー体験

<3日目（8月8日）>

午前中は、世界淡水魚園水族館「アクア・トト ぎふ」を見学し、世界最大級の淡水魚水族館を楽しむとともに、岐阜県の自然環境、河川環境についても学ぶことができました。また、河川環境公園にて、お土産等の購入をしました。午後からは、「かみいしづ緑の村公園」に移動して、グラウンドゴルフや勾玉づくりなど、みんなで楽しく過ごすことができました。この日は、「かみいしづ緑の村公園」の宿泊施設にて、全員そろっての宿泊研修を行いました。楽しみにしていたバーベキューでは、肉や野菜をたくさん食べ、最後の夜を満喫しました。



アクア・トト・ぎふ



勾玉づくり体験



グラウンドゴルフ体験

<最終日（8月9日）>

最終日は朝6時半に起床し、掃除・朝食後、退所式を行い、最後の見学地「関が原鍾乳洞」を見学しました。鍾乳洞の中は寒いくらいでした。

お別れの集いでは、両市全員で酒田市交流のテーマソング「ビリーブ」を合唱し、握手をしたりホストファミリーや仲良くなった友達同士で写真を撮り合ったりと、最後まで別れを惜しんだりしていました。



別れの集い



みんなで記念写真

4日間の海津市・酒田市交流会で、子どもたちはいろいろな場所を見学したり、さまざまな体験を行ったりしました。酒田の子どもたちと手を取り合ってきた体験の数々は、子どもたちにとって、人生におけるかけがえのない貴重な経験・思い出として、忘れられないものとなりました。特に、ホームステイ先での家族の皆さんとの出会いとふれあいは、心に残る一番の宝物となりました。